

平成26年度第2回教育研究評議会議事要旨

日時	平成26年5月23日（金）15時30分～17時07分
場所	大学本部2階大会議室
出席者	佛淵学長，瀬口理事，中島理事，岩本理事，宮崎理事，宮脇副文化教育学部長（代理出席），平地経済学部長，藤本医学部長，渡邊農学部長，諸泉全学教育機構副機構長，富田附属図書館長，早川総合分析実験センター長，都築評議員，畑山評議員，萩原評議員，大島評議員
欠席者	甲斐文化教育学部長，石橋工学系研究科長，森田医学部附属病院長，大田評議員
陪席者	増子評価室長

○ 前回議事要旨について

学長から，平成26年度第1回教育研究評議会議事要旨（案）を評議員に送付，確認したところ，加除・修正等の意見はなかったため，原案のとおり確定し，ホームページに掲載している旨，報告があった。

○ 審議事項

1. 国立大学法人佐賀大学海洋エネルギー研究センター等における教育職員の任期制の実施に係る再任審査に関する内規（以下，「内規」）の一部を改正する規程の制定について

人事課長から，本件について，労働契約法の改正による国立大学法人佐賀大学教職員の任期に関する規程の一部改正に伴い改正するもので，海洋エネルギー研究センター，低平地沿岸海域研究センター及び地域学歴史文化研究センターにおいて任期を定めて雇用する教育職員及び任期の定めのない教育職員となった者に係る業績審査の見直しを行う旨の説明があった。

さらに，5月14日の役員会において，第8条の「任期の定めのない教育職員に係る業績審査」については，親規程である「国立大学法人佐賀大学教育職員の任期に関する規程」と反するとの意見があった旨の説明があり，審議の結果，第8条を削除することで了承された。

2. 佐賀大学医学部附属病院規則の一部改正について

医学部事務部次長から，病院の診療体制と病院規則との整合性を図ることに伴う改正である旨説明があり，審議の結果了承された。

3. 名誉教授称号授与について

各学部長等から，国立大学法人佐賀大学名誉教授称号授与規則第2条に規定する基準に該当する者で，当該部局の教授会等の議を経て名誉教授候補者として推薦する者について説明があり，次いで評議員による投票を行った結果，推薦された者全員を名誉教授として選考した。

4. その他

特になし。

○ 報告事項

1. 年俸制導入検討部会

岩本理事から、文部科学省との意見交換において、平成28年度までに目標を達成すること、また、6月10日までに文部科学省へ目標を提出するとの報告があった。

次いで、学長から、制度についての補足説明及び今後の方向性について説明があった。

2. 全学委員会等の審議状況報告について

岩本理事から、研究費不正防止計画推進委員会の検討を踏まえ、全教職員向けに「助成金等の寄附受入れに係る取扱いについて」を通知し、改めて周知徹底を行った旨の報告があった。

3. その他

特になし。

○ 意見交換

・平成26年度各理事室の取組（重点的に取り組む事項）と大学改革プランに対応した各学部の取組

学長から、今回の意見交換では、一平成26年度各理事室の取組（重点的に取り組む事項）と大学改革プランに対応した各学部の取組—をテーマとし、各理事及び各学部長から意見をいただきたい旨の発言があった。

瀬口理事から主に以下について説明があった。

平成26年度重点取組

- ・ 認証評価の受審に向けた準備
- ・ 主体的学びへの転換促進に向けた組織的取組
- ・ 教養教育の実質化に向けた取組
- ・ 自学自習環境の整備
- ・ 学生支援体制の強化
- ・ 入試制度の見直し及び高大連携の推進
- ・ 就職率（B）の向上に向けた取組

中島理事から主に以下について説明があった。

平成26年度重点取組

- ・ 研究活動の不正行為に関する規程等の制定
- ・ 研究の質の向上システム
- ・ 重点領域研究の推進体制
- ・ 研究センターの時限評価の実施
- ・ 研究環境の整備

- ・ 6者協定事業の推進
- ・ 第3回佐賀大学コンテンツデザインコンテスト開催
- ・ 利益相反管理の徹底について
- ・ 国際戦略構想の具体的取組について
- ・ 学術情報基盤の整備
- ・ 地（知）の拠点整備事業の推進

岩本理事から主に以下について説明があった。

平成26年度重点取組

- ・ 組織再編基本構想の策定に向けた検討
- ・ 第3期中期目標・中期計画の策定に向けた検討
- ・ 認証評価の受審に向けた準備
- ・ 戦略的な予算編成，重点的な予算配分
- ・ 経費削減について
- ・ 公的研究費等の不正防止について
- ・ 年俸制導入の検討
- ・ 新学部の広報等

宮崎理事から主に以下について説明があった。

平成26年度重点取組

附属病院の機能の充実・強化

- ・ 勤務環境改善への取り組み
- ・ 診療報酬改定の対応
- ・ 診療報酬算定の随時見直し
- ・ 病院再整備（ステージ2，3）

副文化教育学部長から主に以下について説明があった。

文化教育学部及び教育学研究科の改革

- ・ 新学部及び新研究科の設置目的の明確化
- ・ 佐賀県の文化の拠点としての機能の強化
- ・ 地域密接型を目指す教員養成系学部改革

経済学部長から主に以下について説明があった。

大学改革プランに対応した経済学部の取組

- ・ 昨年の改組に伴い，教育の質保証として，新しいカリキュラム（初年次教育，コア科目群確認試験）を検討及び準備
- ・ 地域との連携を通して，経営人材の育成の仕組みづくり
- ・ 地域研究と国際交流を柱とする研究・教育

医学部長から主に以下について説明があった。

佐賀大学病院における地域医療COC構想への取組

- ・ 総合内科医育成事業
- ・ 地域肝炎コーディネーター養成事業
- ・ ドクターヘリ事業
- ・ 看護学科を中心とした，地域を含めた人事交流による相互のキャリア

形成支援

評議員から主に以下について説明があった。

大学改革プランに対応した理工学部・工学系研究科の取組

- ・グローバル化基盤の強化
- ・研究シーズへの積極的応募への支援
- ・地域の地場産業界との連携活動の展開
- ・入学者の質の確保
- ・語学力向上及びグローバル人材育成
- ・社会人への学び直しのための教育プログラム開講の検討
- ・工学系高度人材育成コンソーシアム佐賀との連携
- ・理工系人材育成のための教育研究組織の再編を検討
- ・海外交流協定校の拡充及びMOU締結

農学部長から主に以下について説明があった。

大学改革プランに対応した農学部の取組

- ・「食・環境・健康」をコンセプトにした改組を検討
- ・学部及び研究科の枠を超えた教員の連携の検討
- ・農業技術経営管理士養成プログラムの推進
- ・JICAとの連携
- ・産学官連携による機能性食品の開発プロジェクトの推進
- ・異分野融合による機能性食品とコスメ原材料の研究開発と産業育成プロジェクトの推進
- ・医農連携を中心とした学部間共同によるアグリセラピー開発拠点の形成

学長から、今回の議論を踏まえ、他学部の状況も視野に入れて邁進して頂きたい旨の発言があった。

なお、次回の意見交換は、「教育の質保証と教育力の向上（仮題）」として行うことが確認された。

以上